

水稻新品種 「サキホコレ」

- 「コシヒカリ」を超える極良食味で「秋田米の顔」になり得る水稻新品種候補です。
- 晩生種で良品質、いもち病に強く、高温による品質低下が少ない特性があります。

系 譜

※平成22年交配

サキホコレ

中部132号

秋田97号
(つぶぞろい)

- ・愛知県育成
- ・いもち抵抗性強
- ・良食味系統
- ・県オリジナル品種
(平成27年デビュー)
- ・良食味
- ・大粒で多収



- いもち病に強く、極めて良食味の品種育成を目標にしました。
- 父親の「秋田97号」は平成17年から交配母本として利用してきましたが、その後代に特性の優れる系統が多く、交配母本として高く評価していました。
- 通常は東北地域内の母本を交配に用いますが、それでは大幅な食味の改良は期待できません。
- そこで、リスクを負って地域外の母本「中部132号」を選定しました。

★この品種に関する問い合わせ先

秋田県農業試験場 電話 018-881-3312

水稻新品種 「サキホコレ」

主要特性

- 「あきたこまち」よりも出穂期で6日、成熟期で9日程度遅い晩生種
- 収量性は「あきたこまち」並
- 玄米の大きさは「あきたこまち」並
- 玄米品質は安定して良品質
- 「あきたこまち」より、いもち病に強い特性
- 「あきたこまち」より、高温による玄米の品質低下は少ない
- 炊飯米は、外観・味に優れ粘りが強い極良食味

品種・系統名	出穂期 (月/日)	成熟期 (月/日)	収量 (kg/a)	玄米千粒重 (g)	玄米 品質	いもち 耐病性	高温登熟 耐性	耐倒伏性	耐冷性
サキホコレ	8/6	9/21	58.1	21.9	1.8	強～中	やや弱	中	やや強
あきたこまち	7/31	9/12	58.8	21.9	2.1	中～やや弱	やや弱	中	中

※農試圃場における成績、平27年～令和1年の平均値

※収量調査はふるい目1.9mm

※品質(1:1等上、2:1等中、3:1等下、4:2等上、5:2等中、6:2等下、7:3等上、8:3等中、9:3等下)

※いもち耐病性、高温登熟耐性(極強>かなり強>強>やや強>中>やや弱>弱>かなり弱>極弱)

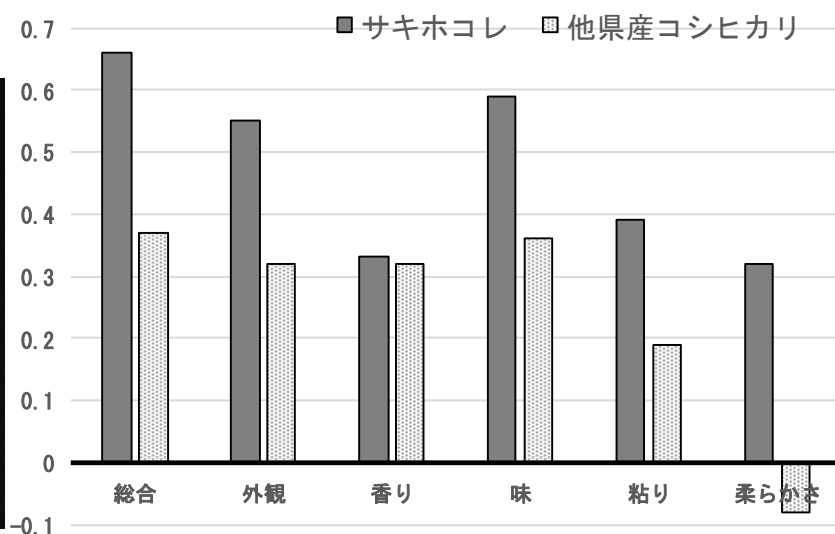


サキホコレ

あきたこまち

コシヒカリ

【 玄米外観 】



【 食味官能評価 】

※外部委託評価(平成27年-令和1年)
※委託先の基準米との比較

★この品種に関する問い合わせ先

秋田県農業試験場 電話 018-881-3312